

マーケティング研究

教授 福田康典

1. 研究内容

皆さんは毎日、数え切れないほどの広告やプロモーション・キャンペーンに接触し、その時々欲望やより長期的なビジョンの達成のために、様々な製品・サービスを購入しています。一方、アルバイトなどを通じて売り手という立場から製品やサービスの売り買いに関与している人も少なくないでしょう。こういった日々の経験は、交換現象を主たる分析対象とするマーケティングの具体的な断片なのです。

本演習室は、こういったマーケティングに関する具体的・断片的な知識を抽象的・全体的なマーケティング知識体系の中にいったん組み込み、それを基に再度具体化していくという作業を繰り返す行い、その知識をより深くまた有用性の高い形でマスターしていく場です。したがって、受動的に与えられたタスクをこなしていくという姿勢ではなく、様々な情報源（自分の生活、アルバイト、新聞や雑誌など）を常に活用し、積極的に自分の理解したいマーケティング現象を模索していくという姿勢が必要となります。

2. ゼミの進め方

《2年次》

受け皿となる理論的知識を習得するとともに、それに関連する具体的事例を議論することが中心となります。合宿（春季休暇中、夏季休暇中）を実施する予定。

《3年次》

学内外で募集される論文へ応募するための準備を整え、最終的には共同研究論文という形で研究成果を発表してもらいます。合宿（春季休暇中、夏季休暇中）を実施する予定。

《4年次》

これまでに学んできたこと、現時点での自分の関心、将来の進路という3点を熟慮した上で、個人ベースでの論文あるいはビジネスプランを作成してもらいます。合宿（夏季休暇中）を実施する予定。

3. 教材

マーケティングの基礎、論文作成、統計処理などに関するテキストは適宜指定していきますが、こういった指定が無くとも、図書館や書店に足を運んで新聞、雑誌、書籍を読んだり、インターネットで情報を収集したりするなど、教材を自分で積極的に開拓して行ってください。

4. 成績評価の方法

成績は以下の点に関する評価をもとに判断します：①授業内において積極的な学習姿勢を見せているかどうか、②提示された課題に対して適切な対応がなされているかどうか、③ゼミナールという一つの社会の一員として適切な振る舞いができているかどうか。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

いろいろな意見を取り入れながら、よりよいゼミのあり方を一緒に模索していきたいと思っていますので、積極的にゼミ活動に参加し、その運営にコミットしてくれる方を希望します。また、他の講義科目には無い少人数での人間関係が発生しますので、卒業後も長く付き合えるような学友を育む場でもありたいと思っています。

なお、このゼミでは、日本語会話の可能な交換留学生を受け入れることがあります。